

省エネ住宅普及のための情報提供に関する研究

日本ガス協会との共同研究です。

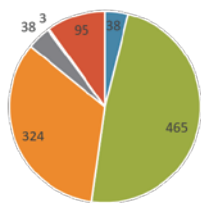
省エネルギー性の高い住宅の普及を目的として、web アンケートやヒアリングなどの実態調査を行ったり、アンケート結果やシミュレーションを活用して、設計者が打ち合わせ時に使用できるコンテンツを作成しています。

1. 設計者ヒアリング 工務店を対象に設計現場の実態を調査

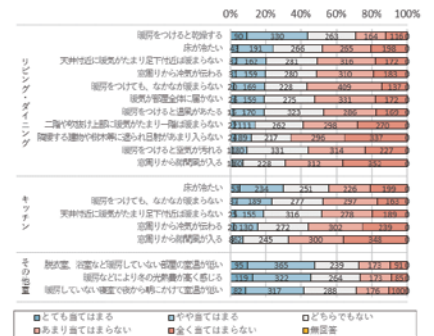
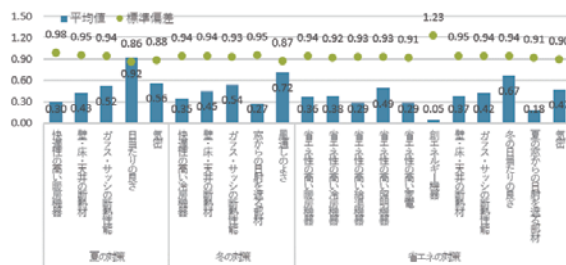


2.web アンケート web アンケートによって住宅性能や施主の意識について調査

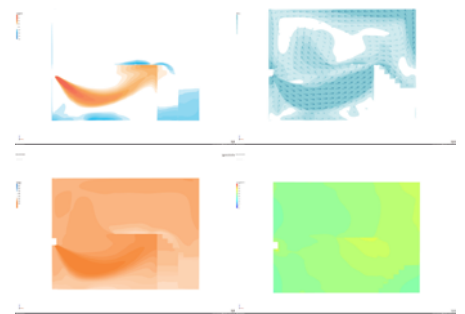
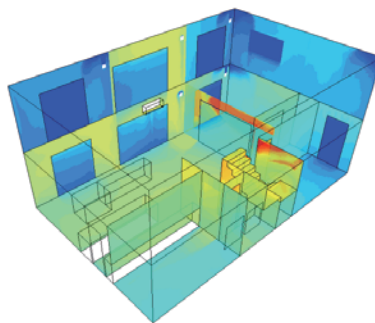
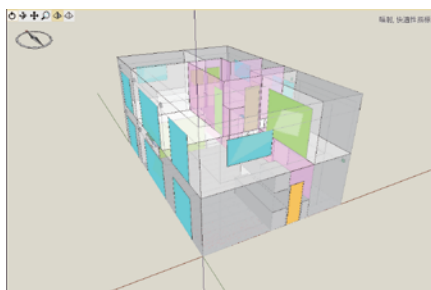
ガラス性能



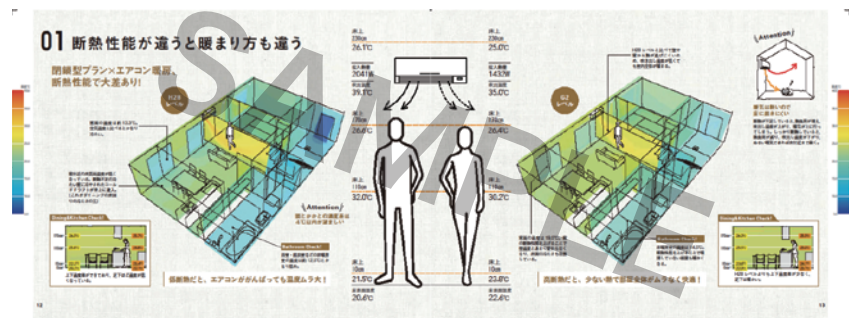
■単板ガラス ■複層ガラス ■Low-eガラス
■三重ガラス ■その他 ■わからない



3. シミュレーション 研究室で作成した住宅モデルで温熱環境のシミュレーションを行う



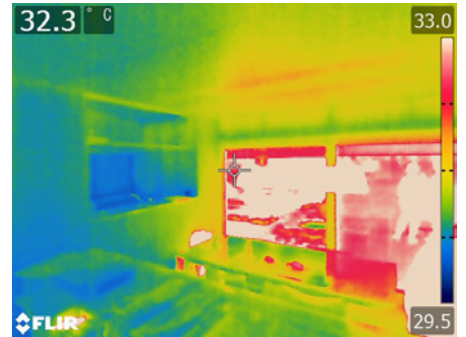
4. コンテンツ作成 アンケート・シミュレーション結果をまとめ、コンテンツを作成





プロジェクトリーダー 新富凌汰

住宅の快適性や省エネルギー性能の実現には設計時の対策が重要ですが、設計時の想定が難しいことや、その重要性があまり認識されていないなどの理由から、見落とされたり期待通りの性能を得られていないことが多いのが現状です。このプロジェクトではアンケートやヒアリングなどを通して、施主や設計者の認識や実際に採用された性能について調査することで、設計時における適切な情報提供について検討しています。昨年度は新築戸建住宅の購入者を対象に行ったアンケート結果や CFD シミュレーションの結果をまとめ、設計初期の打ち合わせに使用できる冊子コンテンツを作成しました。エクスナレッジの建築知識ビルダーズの別冊付録として販売中です。



関連論文リスト

「空間構成と暖房方式の関係から生じる室内温熱環境評価 - アンケート評価による導入実態を反映住宅モデルの数値流体解析 -」
大石幸奈 (2016 年度東京大学大学院 修士論文)

「新築戸建て住宅における省エネルギー住宅導入と意思決定に関する研究 ～施主側・設計者側の両視点を通じて～」
神戸寛貴 (2015 年度東京大学大学院 修士論文)

「省エネルギー住宅の普及実態に関する研究 - 新築注文住宅における購買者・設計者双方の意識調査を通じた考察 -」
富山創樹 (2014 年度東京大学大学院 修士論文)

研究関係の外部リンク

省エネルギー行動研究会：<http://seeb.jp/>

建築知識ビルダーズ 28：<http://xknowledge-books.jp/ipscs-book/BooksApp.jsessionid=7B31EA6A87E5BB28DF5C62FA86555FDB?act=book&isbn=9784767822686>